

松ヶ丘地区部会

- 基本方針 1** 身近なコミュニティづくりの推進
基本的な方向 (1) 地域活動をしている人たち及び関係機関のネットワークをつくる
具体的な取り組み 1 地域支えあい連絡会の設置・推進

取組内容	地区部会の取組
<p>○地域活動する様々な団体が連携（構成）し、「助け合い、支え合い」による地域運営が可能となるように「地域運営委員会」の仕組みづくりを検討し、その中で「助け合い、支え合い」活動を推進する。</p>	<p>概要：今年度「松ヶ丘中学校地区地域運営委員会」が設立されました。本委員会は、構成団体が、地区の課題や情報を共有し、地区の将来像や地域の実情に合った活動について話し合い、継続的、計画的に住民同士の「助けあい・支えあい」による地域運営を進めることを目的としています。</p> <p>いつ・・・・・・・・・・月1回 どこで・・・・・・・・松ヶ丘公民館 誰が・・・・・・・・・・37団体が参加 誰を対象に・・・・・・地域住民 何をしているか・・情報交換による情報共有 今後の方針・・・・本会の活動が拡がりをもよおすよう加入団体の増加を促進していきたいと考えています。</p>

- 基本方針 1** 身近なコミュニティづくりの推進
基本的な方向 (2) 常日頃からの近所付き合いができるような関係をつくる
具体的な取り組み 2 ボランティア活動のしくみづくり

取組内容	地区部会の取組
<p>○地区部会や町内自治会等が、日常生活の中でのちょっとしたお手伝いや支援を近隣住民が行う、助け合い活動の仕組みをつくる。</p>	<p>概要：ひとり暮らし高齢者支援事業として、日常生活のちょっとした困りごと等の手伝いをする「お助け隊」を実施しています。</p> <p>いつ・・・・・・・・・・依頼を受け随時（平成26年1月～12月実績：65件） どこで・・・・・・・・活動拠点は「ひだまり」 誰が・・・・・・・・ネットワーク委員会が中心（登録ボランティア 約80人） 誰を対象に・・・・・・ひとり暮らし高齢者（70歳以上） 何をしているか・・雑草取り、刈り込み、立木の一部伐採作業等 今後の方針・・・・定常的活動になっていますが、質・量ともに向上させていきたいと考えています。</p>

基本方針 1 **身近なコミュニティづくりの推進**
基本的な方向 (3) **見守り体制をつくり、見守り活動を行う**
具体的な取り組み 3 **見守り体制をつくる**

取組内容	地区部会の取組
<p>○地域の中で支援を必要とする人（高齢者や障がい者など）の意向を尊重しながら、住民同士が日常生活の中でさりげない見守り活動を実施する。</p>	<p>概要：「見守り活動事業」作業部会を設置し、各関係団体を含め協議を重ねた結果、平成27年3月22日に見守り活動事業発足式を実施しました。平成27年4月から活動を始めています。</p> <p>いつ・・・・・・・・・・週2回 どこで・・・・・・・・希望者宅 約50世帯 誰が・・・・・・・・見守り活動協力者 80人 誰を対象に・・・・ひとり暮らし高齢者や障がいのある方などの内、見守りを希望する方（手上げ方式）＋見守りが必要と思われる方（個別に呼びかけ） 何をしているか・・外部から目配りをし、異変がないかを確認（雨戸が開かない・・・他）、電話による安否確認 今後の方針・・・・希望者・ボランティアを拡大していきたいと考えています。</p>

基本方針 2 **交流の場と仲間づくり**
基本的な方向 (4) **世代を超えた、地域交流の場づくり**
具体的な取り組み 1 1 **世代間交流の場の提供**

取組内容	地区部会の取組
<p>○高齢者、障がい者、児童、赤ちゃん連れの母親など、誰もが、朝から夕方まで気軽に出入りできる交流の場の設置に向けて具体的なスケジュールづくりを行い、場所の確保を図る。</p>	<p>概要：地域運営委員会で「ひだまり運営委員会」を設立し、役員が当番制で常駐しています。誰もがいつでも立ち寄り、地域住民の交流の場となっています。 高齢者の来場が中心でしたが、小、中学生の来場も増え、自習や友人との交流の場として利用されています。</p> <p>いつ・・・・・・・・・・月曜日から土曜日 どこで・・・・・・・・ひだまり（民間の建物を有料で賃借している） 誰が・・・・・・・・ひだまり運営委員会（8～9人）が当番で常駐 誰を対象に・・・・地域住民 何をしているか・・気軽に誰でも出入りでき、多世代交流できる場の提供 今後の方針・・・・より多くの方に来ていただけるよう、地域住民への広報に努めていきたいと考えています。</p>

基本方針 5 相談体制、情報提供の場づくり
 基本的な方向 (1) 情報が正確に伝わる取り組み
 具体的な取り組み 16 中学校区相談・情報センター機能の充実

取組内容	地区部会の取組
<p>○地区部会が開催するふれあい・いきいきサロンや子育てサロン、ひだまり等でスタッフが気軽に相談を受け付け、その場で回答できないものは関係団体から回答する体制を整えている。</p>	<p>概要：松ヶ丘中学校区のホームページにより、地域のイベントや出来事を掲載し、情報発信しています。松ヶ丘中学校地区地域運営委員会が毎月開催している「円卓会議」で各団体のイベントや活動の情報収集やPRに努めています。</p> <p>「ひだまり」にサークル紹介や各団体のチラシを掲載、配布しています。</p> <p>「ひだまり」に役員が当番制で常駐しているので、問い合わせがあった場合は、対応しています。</p> <p>いつ・・・・・・・・月曜日から土曜日 どこで・・・・・・・・ひだまり 誰が・・・・・・・・ひだまり運営委員会が当番で常駐 誰を対象に・・・・地域住民 何をしているか・・気軽に誰でも出入りでき、多世代の方が相談できる環境づくり 今後の方針・・・・地域住民への広報に努めていきたいと考えています。</p>

基本方針 1 **身近なコミュニティづくりの推進**
基本的な方向 (3) **見守り体制をつくり、見守り活動を行う**
具体的な取り組み 3 **見守り体制をつくる**

取組内容	地区部会の取組
<p>○地域の中で支援を必要とする人（高齢者や障がい者など）の意向を尊重しながら、住民同士が日常生活の中でさりげない見守り活動を実施する。</p>	<p>概要：ひとり暮らし高齢者が安心して地域で暮らせるように、一部の町内自治会で見守り活動を実施しています。</p> <p>いつ・・・・・・・・・・月2回 どこ・・・・・・・・・・見守り希望者宅 誰が・・・・・・・・・・都町町内会、都町リハイム自治会 誰を対象に・・・・・・75歳以上の独居高齢者のうち見守りを希望する方 何をしているか・・・・声かけによる安否確認 今後の方針・・・・・・都地区では、10町内自治会で防犯パトロール隊を結成し、毎日、防犯パトロールを実施しています。町内自治会の中には、防犯パトロールが目配りや声かけによる安否確認に繋がっているという意見があり、現在、見守り活動としては2町内自治会の実施となっています。今後も各町内自治会と話し合いを続け、将来的には全町内自治会で見守り活動を実施したいと考えていますが、当面は地域の実情を把握するため、ひとり暮らし高齢者の状況を調査し、必要に応じて支援内容を検討していきたいと考えています。</p>

基本方針 2 **交流の場と仲間づくり**
基本的な方向 (1) **高齢者の交流の場をつくる**
具体的な取り組み 6 **ふれあい・いきいきサロンの充実**

取組内容	地区部会の取組
<p>○地区部会が、地域の高齢者向けの「ふれあい・いきいきサロン」を月1回以上開催する。</p>	<p>概要：高齢者の閉じこもり防止や仲間づくりを図るため、月1回、いきいきサロンを実施しています。</p> <p>いつ・・・・・・・・・・毎月第3火曜日 14:00～16:00 どこ・・・・・・・・・・都町東自治会館 誰が・・・・・・・・・・地区部会 誰を対象に・・・・・・60歳以上の高齢者 47名 何をしているか・・・・麻雀(12名)、健康体操(12名)、手芸(10名)、カラオケ(13名) 今後の方針・・・・・・都地区の町内自治会ごとに高齢者が集うサロンを実施しています。地区部会としては、広域のサロンとして、町内自治会の枠を超えた仲間づくりの場として、継続して実施していきたいと考えています。</p>

基本方針 2 子育てサロンの充実
 基本的な方向 (2) 子どもと子育て中の親への支援
 具体的な取り組み 9 子育てサロンの充実

取組内容	地区部会の取組
<p>○地区部会が、地域の子育て中の親子向けの「ふれあい・子育てサロン」を月1回以上開催する。</p>	<p>概要：子育て中の親子とボランティアが自由に語り、情報交換することを通じて、子育て親子の仲間づくりを図るため、月1回、子育てサロンを実施している。</p> <p>いつ・・・・・・・・・・毎月第2火曜日 10：00～12：00 どこ・・・・・・・・・・都町町内会集会所 誰が・・・・・・・・・・地区部会 誰を対象に・・・・・・・・子育て中の親子 約20人 何をしているか・・親同士の情報交換、絵本読み聞かせ、育児相談等により、子育て親子の仲間づくりや育児ノイローゼ等の予防に努めています。 今後の方針・・・・・・・・多くの親子が参加しやすくなるよう、町内自治会の回覧により広報に努めていきたいと考えています。</p>

- 基本方針 1 身近なコミュニティづくりの推進
 基本的な方向 (3) 見守り体制をつくり、見守り活動を行う
 具体的な取り組み 5 すべての子どもを地域で育てる

取組内容	地区部会の取組
<p>○関係団体と学校・警察が連携し、「子ども110番のいえ」訪問、挨拶や駆け込み訓練等を実施する。</p>	<p>概要： 弁天小の児童が通学路付近の110番の家を訪問し、挨拶し、子供たちと110番のいえの方が顔見知りとなり、子供たちがこわい目に遭った時に安心して駆け込めるようにするためです。</p> <p>いつ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 平成27年6月23日(火) ピンクルートと赤・ピンクルートを実施 平成27年7月3日(金) 赤ルートは雨で中止しました。 平成27年7月7日(火) 黄色ルート 緑・青ルートを実施 平成27年7月10日(金) 赤ルートを実施 日取りの決め方は、1年、2年の終業時間が同じであることと引率者の人数がそろう日としました。 <p>どこで：</p> <ol style="list-style-type: none"> 新宿中学校青少年育成委員会で把握しているこども110番の家は、217件あります。 このうち、弁天小学校の通学路近傍には、58軒あります。(このうち個人宅23軒を含んでいます。) この58軒の中から弁天小の5つの通学路近傍の110番のいえ、22軒を訪問しました。できるだけ昨年度とは違う110ばんのいえを訪問しました。 <p>誰が、誰を対象に：</p> <ol style="list-style-type: none"> 単独での通学に慣れていない弁天小学校1、2年生の希望者を対象にしました。 参加児童数1年生在籍43名中、37名参加(86%) 2年生在籍38名中、29名参加(76%) 参加総数在籍81名中、66名参加(81%) 引率者は、地区部会の役員、子供会役員、PTA役員、青少年育成委員会役員、教頭、担任。 引率者総数延べで40名 <p>なにをしているか：</p> <ol style="list-style-type: none"> 訪問当日は、14時30分に引率者が集合し、授業を終えた児童をルート別に整列させ点呼をとりました。 水筒持参の子には、社協で用意した麦茶を補充し、水筒を忘れた児童のために紙コップと麦茶を引率者が携行しました。

- 基本方針 1 身近なコミュニティづくりの推進
 基本的な方向 (3) 見守り体制をつくり、見守り活動を行う
 具体的な取り組み 5 すべての子どもを地域で育てる

取組内容	地区部会の取組
<p>○関係団体と学校・警察が連携し、「子ども110番のいえ」訪問、挨拶や駆け込み訓練等を実施する。</p>	<p>なにをしているか：</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 自分の通学路に近いこども110番のいえを順番に訪ねて、家の中に入り、家の方に「よろしくお願いします」と挨拶しました。家の方からは「いつでも来てください。皆さんを守ります」と言葉を頂きました。 4. 一般家庭の110番の家には、普段はカギがかかって入れないかもしれないので、そのような時は、次の110番の家に行くか大声で助けを呼ぶか非常ベルを鳴らすなど指導しました。 5. ルートごとに約10名のグループを引率者が5から6名つきました。16時ころ終了し、現地から直接自宅に帰る子供とルームに帰る子供とに分けてそれぞれ引率者をつけました。 <p>この訪問をやるようになった理由：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 弁天小近傍で不審者に遭遇した児童は、110番のいえに掛け込まずに遠くの自宅まで逃げたことがありました。 2. 全国で不審者の事件が相次いでおります。 3. 他の地区部会で110番駆け込み訓練をやった報告を聞いて当地区部会でもやってみようと考えました。 <p>実施に当たって苦労したこと：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当地区部会の役員に大反対されました。こども110番のいえは、青少年育成委員会の担当であり、なぜそれを社協がやるのか。そんなことから実施まで3年かかりました。 2. さらに第1回目の昨年は、実施に当たり、関係個所の了解を取るのに時間を費やしました。まず青少年育成委員会の会長さんへ文書を提出して、育成委員会の事務局である新宿中に出向いて説明し、さらに市役所のこども未来局へ説明したところ、弁天小校長の了解を取るよう言われました。簡単なメモをもって弁天小の校長先生に説明したところ、「大変良いことだ。すぐやってほしい」今日の説明でよくわかった。文書提出不要です。大変理解のある校長先生で助かりました。 3. このことから今年は、育成委員会会長さんに文書を出しただけで、弁天小と直ちに実施に向けての打ち合わせに入り、実行しました。

基本方針 1 身近なコミュニティづくりの推進
 基本的な方向 (3) 見守り体制をつくり、見守り活動を行う
 具体的な取り組み 5 すべての子どもを地域で育てる

取組内容	地区部会の取組
<p>○関係団体と学校・警察が連携し、「子ども110番のいえ」訪問、挨拶や駆け込み訓練等を実施する。</p>	<p>実施に当たって苦労したこと：</p> <p>4. 地区部会ではこども110番のいえを青少年育成委員会から頂いた一覧表から地図に落として把握しています。地図には個体名が長すぎるものもありますので、個体に振られた番号を記入しています。ところが毎年育成委員会では、110番のいえの廃止や新設があるため、番号を一から振りなおします。昨年の個体番号と今年の個体番号が異なってきますので、昨年つくった地図上の番号と今年の個体名は異なってしまい、毎年地図か一覧表のどちらかを作り直す必要に迫られ困っています。廃止のところは欠番として、個体番号を変えないよう要望しましたが、地区部会側で考えてほしいとのことでした。</p> <p>今後の方針：110番のいえの訪問はもちろん続けていきますが、次のことを考えています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 訪問する110番のいえには、事前に訪問する日時を連絡してあったので、門まで迎えに来てくれたり、座敷に上がれ上がれとお茶を用意してくれたりと本来の姿とは違ってしまったので、来年からは、ぶっつけ本番でやりたいと思います。 2. 訪問する児童の数は、10名以下としたいと思います。 訪問する110場のいえも店内が狭いとお客さんもいて迷惑となります。10名程度なら引率する方も児童に十分目が届きます。 3. 2年生は昨年実施しており、110番のいえの存在を理解したので、来年はどうか検討したい。 4. 平成27年7月上旬、奈良県の大阪府との県境に近い町のリサイクルショップのトイレ付近で11歳の女の子が誘拐されました。勇気のある女の子で大きな声を出したので、店員二人がそれを聞きました。その直後に駐車場を出て行った車から犯人は割り出されてつかまりました。 5. このように110番のいえに逃げ込む余裕のないような、怖い目があったとき、子供たちに逃げる力、のがれ方、走るスピード、体の動作などを身に着ける訓練を実施したいと考えています。このような訓練を有料で実施しているNPO法人に依頼したいと考えています。